

政策番号 政策名

112 すべてのひとがいきいきと活動する

政策の方向

子どもから高齢者まですべての市民がいきいきとくらするまち、とくに高齢者や障害のあるひとが、住み慣れた地域社会のなかで、積極的に社会参加ができる場所や機会に恵まれ、多くのひとたちとふれあいながら社会の一員としての生きがいをもって活躍できるまちの実現をめざす。

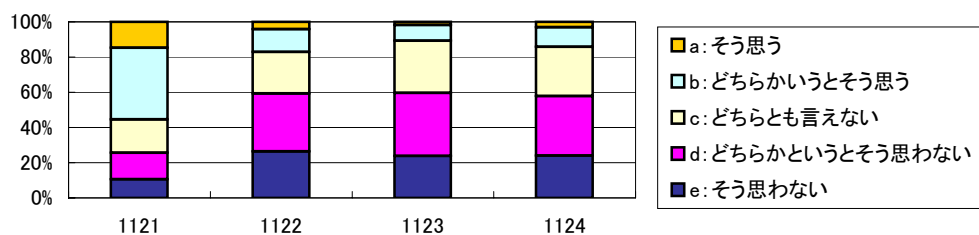
政策の評価

1 政策の評価に用いる客観指標の最新値と評価

施策番号	客観指標名	17		18		19	
		数値	評価	数値	評価	数値	評価
1121	完了検査済証の交付率 (%)	53.0	c	57.0	c	63.7	b
1121	実体違反建築物件数 (件)	179	b	176	d	193	c
1122	障害者社会参加促進事業参加者数 (人)	11,964	c	11,247	e	11,704	d
1122	老人福祉センターの利用者数 (人)	499,334	a	511,134	a	504,552	b
1123	障害のあるひとの通所授産施設等の施設数 (人分)	1,189	d	1,290	a	1,360	a
1123	シルバー人材センターにおける就業延べ人員 (人)	312,038	a	348,006	b	377,863	d
1124	労働者金融対策 (融資制度) 件数 (件)	362	a	159	d	158	d
1124	京都労働学校入学者数 (人)	1,502	c	1,386	c	1,495	b
客観指標総合評価			b		c		c

2 政策を構成する施策に対する市民生活実感評価

施策番号	設問	評価		
		17	18	19
1121	今住んでいる住宅や周りの環境には満足している。	b	c	b
1122	高齢者や障害のあるひとが社会参加できる機会が十分ある。	d	d	d
1123	高齢者や障害のあるひとの働く場が確保されている。	d	d	d
1124	だれもがいきいきと働ける場を得る機会がある。	e	d	d
市民生活実感総合評価		d	d	d



3 総合評価（市民生活実感総合評価＋客観指標総合評価）

C	客観指標については、全8項目のうち障害のあるひとの通所授産施設等の施設数でa評価であるが、障害者の社会参加に関する項目など3指標がd評価であるなど、全体として昨年度と同様、どちらとも言えない状況である。市民生活実感については、全4項目のうち住環境に関しb評価と1ランクあがったが、就労の場の確保に関する3項目では昨年度に引き続きd評価であり、全体としては悪い状況である。客観指標評価及び市民生活実感評価を総合的に勘案し、この政策の目的は、そこそこ達成されていると評価する。	17年度	C
		18年度	C

4 政策の重要度（27政策における市民の重要度）

住環境	17年度		18年度		19年度	
	順位	%	順位	%	順位	%
	10	19.7%	10	19.7%	10	21.9%

しごと	17年度		18年度		19年度	
	順位	%	順位	%	順位	%
	7	27.0%	6	31.4%	6	26.0%

5 原因分析・今後の方向性

総合評価は昨年度に引き続きC評価となった。

子どもから高齢者まですべての市民がいきいきと活動できるまちづくりという本政策の目的からみて、「今住んでいる住宅や周りの環境には満足している」との生活実感はb評価であり、ユニバーサルデザインの考え方を取り入れた社会環境づくりなど、都市インフラ面での整備は一定充実してきている。他方、高齢者や障害のあるひとをはじめとした就労等の社会参加面では満足度が低い。

退職期を迎えた団塊の世代を含めた高齢者や障害のあるひとなど、対象者ごとの生活実態やニーズが多様化している状況を踏まえた、事業形態や内容の工夫を行っていく必要がある。

また、施策の推進に当たっては、国、府をはじめ、多様な団体等との適切な役割分担と連携を図っていく必要がある。

（参考）この政策を実現するための施策とその総合評価

施策番号	施策名 施策概要	評価結果		
		17	18	19
1121	だれもがずっとくらし続けたいくなるすまい・まちづくり			
	まちや住宅の安全性・地域性・歴史性等に配慮しながら、市民、事業者等との協働により、良質な住宅、住環境を整備し、多様な世代が共生するまちを実現する。	B	C	B
1122	高齢者や障害のあるひとが積極的に社会参加できる機会の提供			
	福祉施設やスポーツ施設を整備し、ボランティア活動を支援するとともに、スポーツ活動の普及・ITなどの活用により、高齢者や障害のあるひとが積極的に社会参加できる社会を実現する。	B	B	C
1123	高齢者や障害のあるひとの能力向上や働く場の確保			
	高齢者や障害のあるひとの能力向上を図り、就業の場の確保に努める。	C	C	C
1124	だれもがいきいきと働けるまちづくり			
	勤労者のニーズに合わせた労働に関する情報の提供や学習機会の提供などを通じ、勤労者の福祉の向上を図り、誰もがいきいきと働けるよう支援を行う。	C	C	C